

新春号

議会から こんにちは

2020

1.1

令和2年



笹川おもん氏作

 さの
市議会だより

■特集

年頭の決意

—市議会議員、今年の抱負を語る—

年頭の決意

- ① 所属会派
- ② 住所
- ③ 自宅電話番号
- ④ 今年の抱負



議長

春山 敏明

- ① 新風
- ② 赤坂町 6 5 1 4
- ③ (24) 0 3 7 4

④ 今私達の地球は、温暖化による気象変動によって危機にさらされています。情報化による国際社会は、新興国の勢いが無くてはならない時代の一方、テロやミサイル、核兵器の脅威も増しました。少子高齢化人口減少にある本市は、高度経済成長期に築かれた社会資本の更新時を迎えています。私は、次世代を見据え、自然環境の保全や防災減災対策の充実と復興、命と健康、心と生活の安寧に向け皆様とともに、諦めずに前を向いて歩みます。



副議長

小暮 博志

- ① 政友みらい
- ② 馬門町 1 5 9 7
- ③ (23) 8 2 6 3

④ 昨年は、台風第19号により、観測史上43年間の最高値の約2倍となる410mm/日の降雨により、床上浸水1719棟、床下浸水1933棟等の大きな災害が発生しました。今後とも、地球の温暖化が進み、降雨の頻度や量も増大すると危惧されています。私達一人ひとりが、省エネルギーに注目して生活する必要がありますと考えます。

新年にあたり、このような災害が発生しないことを祈るとともに、安全で住みよい街づくりに努めてまいります。



慶野 常夫

① 政友みらい

② 下羽田町 1 0 2 5

③ (23) 8 6 6 2

④ 昨年を振り返りますと、台風第19号が発生し大変不安な日々を過ごされたことと思います。佐野市では、防災に力を注いでおりますが、改めて「想定外」とならないよう、万全な対策が必要だと再認識致しました。また、自然災害の怖さとともに、人と関わる大切さを学びました。市民の皆様からの貴重な意見を把握し、安全な復旧・復興に向けて、市の執行部と連携をとり更なる議会活動と市政への反映へ繋げてまいります。



川嶋 嘉一

① 政友みらい

② 関川町 9 0 6 1 2 9

③ (24) 6 5 7 8

④ 台風第19号により被災された市民の皆様に対し心からお見舞い申し上げます。一日も早く日常の生活に戻ることができ、まずようご祈念申し上げます。今後は、地球温暖化が原因とされる異常気象による自然災害から、市民を守る「安全・安心」なまちづくりに取り組んでまいります。併せて私のライフワークである教育問題、つまり教育環境の充実と明日を担う子どもたちや人材の育成に務めてまいります。



菅原 達

① 公明党議員会

② 堀米町 1 1 0 1 5

③ (21) 5 6 0 3

④ かつてない災害に見舞われた佐野市。地球温暖化の影響は想定を超えた水害や猛暑をもたらしました。その自然と共生し市民の命を守るためには、越水による決壊を防ぐ堤防強化を盛り込んだ改良復旧などハード面の対策と避難所や避難経路を含めたハザードマップの見直し、共助による災害弱者等の避難誘導などソフト面の対策の強化が急務です。復旧復興と共に災害に強い街づくりに取り組んでまいります。



木村 久雄

① 公明党議員会

② 閑馬町 1 0 0 1

③ (65) 1 7 2 9

④ 本格的な復旧復興が推進される中、盤石な佐野市を築くために、安心・安全な住環境の整備や急速な進行の様相をみせる人口減少や少子高齢化の影響による医療・福祉の充実、そして、子育て・保育・教育環境の充実等の変革の必要性が高まってきているように感じます。私は、今後市民生活の向上のために、皆様お一人お一人の「声」を市政にお届けし、本市の良き次代を築くために、直面する喫緊の課題に全力で取り組んでまいります。



横井 帝之

① 新風

② 浅沼町 8 3 1 ー 1

③ (21) 2 8 4 2

④ 被害を受けた本市ですが、多くの支援をいただき落ち着きを取り戻しつつあります。災害の教訓からこれからの安心・安全な生活環境には何が必要か優先順位をしっかりと捉え、迅速に取り組みでまいります。また、本年はあそ野学園義務教育学校の開校があり、本市としての義務教育学校元年となります。これからの子どもたちの教育環境のあるべき姿を追求してまいります。



早川 貴光

① 会派に属さない議員

② 天神町 7 2 0

③ (23) 3 9 1 1

④ 台風第19号で被災された市民の皆様の生活再建のスピードを早めるためにも、行政の持つ情報を確実に市民の皆様へ伝達する方法を模索し提案します。また、防災はもとより減災対策をより推進していきます。

今一度、防災計画、防水計画、避難計画やハザードマップ等を見直し、より住みやすい暮らしやすいまちづくりに努めます。



小倉 健一

① 会派に属さない議員

② 出流原町 2 1 2 0

③ (25) 0 4 1 0

④ 台風第19号により被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げます。市全域に被害をもたらした未曾有の大災害。「災害に強いまち佐野市」に向け、徹底した被災状況の検証と抜本的整備が必要です。将来の財政を考えた全庁的事業見直しや踏み込んだ対応改善もなされなければなりません。
本年は東京オリンピック開催年。市民のみなさまの笑顔花咲く一年、安心安全の一年となります。真摯に努めてまいります。



金子 保利

① 会派に属さない議員

② 高萩町 1 2 0 6 1 6

③ (22) 2 2 3 9

④ 私は、有史以来、佐野市は自然災害が極めて少ない地域であり、安心安全な街であると認識し、皆さんに繰り返しお話をし、暖化の影響により、日本や世界中で大災害が身近で起きていることに関心を寄せることなく、佐野市だけは大丈夫であると慢心と奢りがあったのではないかと大いに反省しております。
本年は、心新たに市民の生命財産を守り、更なる安心安全な街づくりのために提案、提言してまいります。



亀山 春夫

① 政友みらい

② 船越町 1 7 1 8 1 1

③ (62) 3 2 6 2

④ 台風第19号により甚大な被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興を行政当局と共に支援し、進めてまいります。地球温暖化の影響による異常気象が常態化してきております。ハザードマップの想定を超えた豪雨による河川の氾濫、名も無い小川からの土砂の流出など、命に関わる事態となっております。自分の地域ではどの様にすれば命が守れるのかなど、地域防災・減災対策を進めます。



本郷 淳一

① 公明党議員会

② 大橋町 3 1 7 3 1 5

③ (23) 2 1 0 0

④ 昨年は、台風第19号により、本市においては初めてとなる大規模かつ広範囲に及ぶ甚大な被害を受けました。一日も早い復旧・復興と、さらなる防災・減災に積極的に取り組んでまいります。また、本市特有の資源を活かした都市ブランド化の推進と発展を目指してまいります。そのためには、私のモットーであります医療・福祉の充実、活力あるまちづくりの推進、安全・安心のまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。



若田部 治彦

① 公明党議員会

② 奈良渕町 6 7 0

③ (21) 2 8 5 1

④ 全国的な温暖化の影響により大雨の日数は長期的にも増える傾向にあり、台風におきましても巨大化しております。本市では、昨年台風により広い範囲で被災され多くの財産を失ってしまったました。本年は、市民の生命と身体及び財産を災害から保護するため防災体制の強化を図らなければなりません。防災に関する新たな計画を進めてまいります。さらに今後、地域と地域の協力体制や自発的な防災活動参加のあり方の構築に努めます。



横田 誠

① 新風

② 栃本町 2 3 3 1 1 3

③ (62) 1 0 8 6

④ 全国的に猛威を振るった台風第19号に、佐野市も甚大な被害を受け、自然災害の脅威を痛感した昨年でした。今なお復旧・復興の途上にあります。変わりゆく社会環境のなかで、災害対策・防災思想の転換点の年とすべく、今後も激甚化が予想される災害リスクについて、行政だけでなく市民一人ひとりが災害にどう向き合い、備えるか、いかにして防災・減災対策の次元を高めるかを課題とし、安全なまちづくりに努めます。



田所 良夫

①新風

②赤見町 3 2 5 6

③(25) 0 2 3 3

④台風第19号により甚大な被害被災を受けた本市の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

先の被災を受けて一日も早い復旧復興と更に防災減災の観点からも今後の備えとしての対応に取り組んでまいります。

引き続き人口減少・少子高齢化社会への対応として、子育てするならさの。そんな支援をしていきたい。介護予防・日常生活支援総合事業の一つである通所型サービスBに積極的に取り組んでまいります。



久保 貴洋

①蒼生会

②閑馬町 1 6 6 9

③(65) 0 3 1 0

④昨年発生した台風第19号で甚大な被害を受けた方の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。今以上に行政と一体となり、国・県と連携を取って防災減災対策に取り組み、危険箇所等の早期な改善を行ってまいります。

また、佐野市の産業振興に対して建設的な提案、提言をし、特に、中山間地域の産業である農林業の振興に向けて新たな支援事業に取り組み、市民サービスの向上、市政運営に効果と成果の出る議員活動に努めます。



鈴木 靖宏

①蒼生会

②越名町 3 1 3

③(87) 4 1 1 5

④昨年は、市議会議員活動10年目の年でした。本年の干支は庚子(かのえ・ね)。「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりです。新しい年は、被災後の復興に向けた取り組みを第一課題とし、あらゆる災害にも対応出来る防災減災のシステムづくりとそれに則した組織づくりを指します。また、財政面では復興予算を確保するとともに、不足予算の充当として、未利用市有施設の早期売却と税外収入(自主財源)の確保に努めます。



岡村 恵子

① 日本共産党議員団

② 富岡町 1 3 8 1 2

③ (24) 2 7 3 8

④ 昨年は台風被害にあわれた方々の切実な声を聞いてきました。一日でも早く安心してたくらしに戻れるよう私も力を尽くす決意です。本当に被災者の皆さんの苦しみに寄り添ってきたのか。市民が困難を抱えた時に、行政の在り方が問われています。今、大事なことは、開発等に税金を使う市政ではなく、市民の安全、いのちとくらし・財産を守ることを優先する市政に切り替えることです。私は、新年にあたり、このことを心から訴えます。



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 1 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 昨年は台風第19号での未曾有の災害が起きました。他人事と思っていたことが現実になりました。市や県・国の様々な支援策を周知するとともに、災害の現状に即した対応を行うことで、被災された方々が一日も早く元の生活に戻れますよう全力を尽くします。百年に一度といわれる災害は、いつまた来るか予測できません。市民の生命、財産を守るため、市とともに防災、減災についてしっかりと取り組んでまいります。



井川 克彦

① 政友みらい

② 植野町 2 1 3 8 1 1

③ (24) 2 8 4 0

④ 昨年10月に発生した台風第19号により被災されました市民の皆様並びに市内事業所の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と復興に向けて全力で取り組んでまいります。災害の少ない安全な佐野市のイメージを根底から揺るがすことになった河川の氾濫や堤防の決壊、中山間地における被害の拡大、避難道路やハザードマップの脆弱性を見直し、強靱化に向けて再構築して行くことが教訓としての課題であると思えます。



山菅 直己

① 政友みらい

② 葛生西 3-1-2-7

③ (85) 2645

④ 台風第19号で被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに復旧、復興、被災者生活の支援に努めてまいります。

県内外からのボランティアの皆様、昼夜を問わず災害対応をされました市職員、社会福祉協議会、消防団員など多くの方々
に感謝を申し上げます。今後も人づくり・夢のもてる街づくり・心の通い合える街づくりをモットーに市民の皆様と共に、安全で安心して暮せる街づくりの実現に全力で取り組みます。



篠原 一世

① 政友みらい

② 下羽田町 1031-3

③ (22) 6017

④ 台風第19号は本市に甚大な災害をもたらし、比較的災害の少ない地域として驚愕の事態となり、超越した降雨災害は市民の不安を煽る事態となりました。また、災害の発生時期、規模、場所は不確定であることが露呈されました。

今回の大災害を教訓に強固なインフラ、人命最優先を市の最重要課題とした市民と協働の安心安全対策が急務であります。心血を注いでの対応が求められていますので、行政、議会とも復旧復興に心血を注ぎます。



飯田 昌弘

① 蒼生会

② 堀米町 81-7

③ (22) 8523

④ 台風第19号により被災された皆様、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興に向けて皆様と一体となって取り組んでまいります。

猛暑、豪雨、多くの台風、地震による災害に対応し、次世代に誇りをもって繋ぐ社会をつくるため、結婚・出産・子育て環境の改善、高齢社会に対応する健康寿命の延伸。安全安心のインフラの整備。産業振興、移住・定住の推進を図り、安心して暮せるまちづくりに全力投球致します。



高橋 功

① 蒼生会

② 仙波町 2845

③ (85) 3054

④ 市議会の役割は行政のチェック機能と合わせ、政策提言や、情報の発信により市民の負託に応えることです。

昨年、台風により甚大な被害が発生し、市民生活に多大な影響を及ぼしました。被災者支援や、復旧・復興に最優先に取り組む、生活再建に応じた切れ目のない支援を行うよう努めます。今後、予想される自然災害を減少させる森林環境の保全、中山間地域の環境保全にこれまで以上に取り組み、安全安心の街づくりを目指します。

議員の年賀状等
あいさつ状は
法律により禁止
されています



議員は、公職選挙法の規定により、選挙区内の方に年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除きます）を出すことは禁止されています。

皆様のご理解をお願いいたします。



佐野ブランドキャラクター さのまる

※表紙絵は笹川むもん氏の作品です。

笹川むもん(育也)氏のプロフィール

PROFILE

- 1954年 栃木県佐野市に生まれ（現住、富山県南砺市在住）
- 1972年 三代目加茂蕃山に師事（富山県南砺市井波）
- 1979年 日展初出品初入選 以後連続15回入選～'94まで出品
- 1984～86年 日彫展 奨励賞連続3回受賞
- 1986年 富山県美術展 県展大賞
- 1987年 日彫展 日彫賞
- 1993年 ポーランド石彫ワークショップ招待（グダニスク）
- 1997年 第26回現代日本美術展 佳作賞
マロニエ文化賞
- 1999年 第14回国民文化祭・ぎふ彫刻コンクール 文部大臣賞
- 2001年 木彫展とミクストメディア展（佐野市文化会館）
- 2002年 砺波市美術館 第5回至高の精神展「興廃風雅」
- 2003年 トリエンナーレ2003神通峡美術展 大賞
- 2006年 となみ野美術展2006 となみ野美術大賞
第45回アートナウKANAZAWA 中日大賞展グランプリ
- 2007年 全国木彫刻コンクール 国際木彫刻キャンプ賞
- 2010年 砺波市主催 笹川むもん彫刻展「MUMONISM！」
- 2013年 佐野市主催 笹川むもん彫刻展（佐野市未来館）
- 2017年 全国木彫刻コンクール 準大賞
東京国立博物館所蔵重文 エラスムス立像 複製制作
その他個展多数

佐野市議会ホームページ及び 議会中継・録画配信をリニューアルしました。

※ 録画映像は、会議の翌日（土日・祝日を除く）からご覧いただけます。
（5年間保存）



リンク

会議日程

議会中継・録画配信 →

一般質問通告書

会議録の検索と閲覧

議会だより

佐野市のホームページ

クリック



（篠原記）

令和2年の新春を迎えました。昨年は大規模災害が発生致しました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。
未曾有の大災害に行政、議会、市民が一体となり、復旧復興に取り組み中、議会として12月定例会は一般質問を一日限定とし、内容は災害に集中した異例の形式となり、質問時間も会派の人数に振り分けての質問となり、集中し時宣を得た内容となりました。また、会期が短くなったことで、市職員は災害対応に時間が取れ、議会として貢献できました。

編集後記

【編集委員会】
委員長 篠原一世
委員 川嶋嘉一
委員 菅原達
委員 久保貴洋
委員 亀山春夫